

## 令和7年度 第2回第7期松本市地域づくり市民委員会 会議要旨

開催日時 令和7年4月25日（金曜日） 午後1時30分から午後3時00分まで

開催場所 大手公民館 大会議室

出席者（敬称略）

委員 古田成志（委員長）、降旗都子（副委員長）、永塚博、塩原敏宏、堀川聡子、百瀬壽、  
竜田大輝、金正玉、櫻井美智代、赤羽勝、中島麻衣、櫻井利彦  
（欠席：野村茂、一ノ瀬知佐子、木藤永子）

事務局 住民自治局長 甕国人

地域づくり支援課 地域づくり支援課長 上條智久

地域づくり支援担当 課長補佐 床尾拓哉、主事 稲場毅人

市民活動推進担当 係長 小岩井一樹

若者参画課 若者参画担当 主事 小山雄聖

### 1 開会

（進行 委員長 古田成志）

### 2 あいさつ

（委員長 古田成志）

### 3 住民自治局長、地域づくり支援課長あいさつ

（住民自治局長 甕国人、地域づくり支援課長 上條智久）

- ・ 職員の異動に伴うあいさつ

### 4 会議事項

#### (1) 第3次松本市地域づくり実行計画について

（事務局 床尾 拓哉）

- ・ 松本市地域づくり実行計画進捗管理表に基づき説明

<質問等>

なし

#### (2) グループディスカッション

A～Cグループに分かれて「身近な地域の地域づくりについて感じていること」をテーマに意見交換

<Aグループ> ○中島麻衣委員、堀川聡子委員、永塚博委員、櫻井利彦委員

- ・ 30代から60代の現役世代が参加できる地域の取組みや居場所が少ない。
- ・ 災害時の安否確認を地域でどのように進めていくべきか課題
- ・ 町会役員は負担というイメージが大きいですが、やってみるとそうでないことも多いため、業務内容を可視化するなど、最初の一步を踏み出してもらうための工夫が必要

<Bグループ> ○塩原敏宏委員、百瀬壽委員、金正玉委員、櫻井美智代委員

- ・ 小・中学生を持つ親は地域行事等を通じて地域と関わる機会が必然的に多くなるが、子どもの成長とともにその機会も減っていくため、徐々に地域や町会とのつながりが希薄化していく。
- ・ コロナ禍を機に住民同士の交流機会が大幅に減少している。
- ・ 若い人に地域の取組みや伝統行事等へ興味を持ってもらうためには「映える」「萌える」などがキーワードになるのではないか。
- ・ 地域愛を育むために地域のどこを愛してもらうかが課題
- ・ 学校PTAが消滅することで、子どもや親と地域とのつながりが希薄化

<Cグループ> ○赤羽勝委員、竜田大輝委員、降旗都子委員

- ・ 地域づくり実行計画の取組み状況を地域づくりセンターから地区へどのように伝えていくかが重要
- ・ 地域課題を可視化するための取組みや仕組みが不足している。
- ・ 移住者・学生・子育て世代など様々な人をどのように地域づくりへ巻き込むかが課題
- ・ 地域行事等への参加について、義務感ではなく、いかにプラスのモチベーションを持ってもらえるかが課題

※ ○はグループリーダー

(総括 古田委員長)

地域課題と委員の皆さんがそれぞれ良いと感じている取組みをつなげていくことが出来れば何かいい方向性が見いだせるかもしれない。

(3) 若者チャレンジ応援事業補助金の審査について

(若者参画課 小山 雄聖)

- ・ 標記補助金の令和6年度実績報告
- ・ 次回委員会で実施する令和7年度の審査について

(4) その他

(事務局)

- ・ 事務連絡について

(以上)